

中国から 12 名の協力交流研修員が日本へ！ ～自治体職員協力交流事業（LGOTP）～

北京事務所

自治体職員協力交流事業（LGOTP）とは

名称は英語の Local Government Officials Training Program in Japan の頭文字をとって LGOTP と呼んでいます。

クリアでは、JET プログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）に加えて、地方自治体による主体的な国際協力を一層推進していくため、海外の地方自治体等の職員を日本の地方自治体に受け入れる際、財政面や受入実務面での支援を行う「自治体職員協力交流事業」(LGOTP) を 1996 年度から実施しています。海外の地方自治体等の職員を「協力交流研修員」として日本の地方自治体に受け入れ、地方自治のノウハウ、技術の習得を図るとともに、受け入れ自治体の国際化施策への協力などを通じて地域の国際化を推進します。本事業は「人づくり」を通じた国際協力事業の一つであり、クリア及び総務省で、研修員の募集やあっせんなどの支援を行っています。2014 年までに 36 ヶ国から延べ 1,057 名の研修生を受け入れています。うち、中国からは、延べ 468 名の方が参加しています。

訪日前歓送会

5 月 16 日、北京市内のホテルで、2015 年度の自治体職員交流事業（LGOTP）により日本各地の自治体へ派遣される中国人青年の皆さんに向けた「訪日前歓送会」を開催しました。

今年度日本へ派遣されるのは、陝西省や吉林省、遼寧省大連市等の地方政府職員 12 名です。国際交流や観光、教育など、それぞれの専門分野で、半年から 1 年にわたり、様々な知識や技術の習得を目指します。

北京事務所が開催した歓送会には、12 名の研修員の他、中国外交部や研修員 OB の方にもご参加いただきました。研修員の皆さんの出発に先立ち、当事務所の寺崎所長が「両国の交流の架け橋となる皆さんが日本へ出発されることを心からうれしく思っています。日本での生活を楽しみ、存分に、ご活躍ください。」と激励の言葉を送りました。



研修員を代表して張迪さんからの抱負



日本へ旅立つ前日、記念の 1 枚！

次に、研修員を代表して瀋陽市の張迪さんが「日本の制度と文化に対する理解を深め、日本に対しても中国の文化・社会の状況を伝えたい。帰国後は、日中両国の交流に一層貢献していきたい。」と力強く抱負を語ってくれました。張迪さんは、クレア JET プログラムのOBでもあり、流暢な日本語を話していました。

また、2009 年に LGOTP 研修員として、木更津市に研修に行かれた中国青年国際人材交流中心の潘明宇さんから、研修にあたっての心構えや研修中のエピソードなどを披露していただきました。

歓送会の席上、研修員は、来賓の方々から激励を受けたり、過去の参加者から経験談を聞いたり、クレア北京事務所職員から日本の地方自治体の状況を聞いたり、さらには、研修員同士での会話を弾ませるなど、日本へ旅立つ前日の夜を有意義に過ごしました。

日本での研修

研修員は、日本に渡った後、半年から1年にかけて研修を受けることとなります。最初の1カ月間は、日本語の習得や日本の地方自治制度、日本文化等に対する理解を深めるための全体研修を行い、その後、事前に決められた日本各地の地方自治体（岩手県・富山県・岐阜県高山市・静岡県浜松市・京都府・鳥取県・島根県松江市・山口県・福岡県北九州市・長崎県長崎市・大分県）に各自配属され、専門研修を受けることとなります。専門研修の分野は、国際交流、観光、環境保全、経済交流、教育、保健医療など多岐にわたります。

過去の参加者は、この研修で得た貴重な経験を自国で活かすとともに、日中友好の架け橋として活躍しています。また、この事業を契機として、日本の地方自治体と中国地方政府との友好交流関係の促進にも役立っています。

クレア北京事務所では、今後ともこの事業が日中双方にとって益々有意義なものとなるよう取組みを進めてまいります。

(永江所長補佐 京都府派遣)